

感染症週報〔市内週報 平成26年第35週〕

感染症発生動向調査

平成26年9月2日

平成26年第35週感染症発生状況【川崎市内】

平成26年8月25日～8月31日

5類感染症(定点把握疾患)等	全数把握疾患	届出(第35週)	累計(平成26年第1週以降)
<p>第35週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) ヘルパンギーナ 3) 突発性発疹でした。</p> <p>感染性胃腸炎は定点当たり4.94人と前週(5.30)より患者報告数は減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。</p> <p>ヘルパンギーナは定点当たり2.31人と前週(3.21)より患者報告数は減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。</p> <p>突発性発疹は定点当たり0.91人と前週(0.79)から患者報告数は増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 4件	結核 182件
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 2件	腸管出血性大腸菌感染症 49件、腸チフス 1件
	4類感染症	なし	E型肝炎 2件、A型肝炎 9件、オウム病 4件 チクングニア熱 1件、デング熱 2件、日本紅斑熱 1件 レジオネラ症 10件、レプトスピラ症 1件
	5類感染症	後天性免疫不全症候群 1件 梅毒 1件	アメーバ赤痢 10件、ウイルス性肝炎 2件、急性脳炎 10件、 クロイツフェルト・ヤコブ病 1件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 後天性免疫不全症候群 16件、ジアルジア症 1件、 侵襲性インフルエンザ菌感染症 3件、侵襲性肺炎球菌感染症 25件 梅毒 19件、破傷風 1件、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件 風しん 15件(臨床診断例9件、検査診断例6件) 麻しん 13件(臨床診断例1件、検査診断例10件、修飾麻しん2件)



